



2022年 2月 9日
第130号

JR 東労組 Yokohama

JR 東労組横浜地本

発行人 助川 一実
編集 情宣 担当
ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



申18号 2022年3月ダイヤ改正に 関する申し入れ 団体交渉を行う その②

4. 南武線の土休日の快速電車の運転時間帯の拡大に至った考え方を示すこと。

会社回答 快速運転時間を拡大することで、他社線を経由して都心方面へアクセスしているお客さまの転移が見込めるため、運転時間帯を拡大するものである。

組合

他社線のお客さまの動向について示されたい。

土休日の他時間帯や平日の運転時間帯の拡大についてはどうか。

会社

京王線や東急沿線のお客さまは、南武線の快速運転があるとご利用に優位であると分析しており、快速運転時間帯の拡大を実施する。

通過駅の利便性や通勤時間帯の輸送力を考えると難しい。

5. 鶴見線営業所の川崎運輸区泊行路を弁天橋泊に変更した理由を示すこと。

会社回答 安定性の向上を目的とし、回送列車について列車設定の見直しを実施するものである。

組合

「安定性の向上」について示されたい。

定期回送スジが南武支線の205系2両から鶴見線205系の3両となることで安定性が向上するのか。

中原支所構内の牽引車代用としての役割に問題はないのか。

会社

南武支線205系のSIV故障を受け、いろいろと検討した結果である。

車両面ではなく、回送スジの時間帯を輸送影響のない時間に変更する。作業に合わせて予定臨のスジも複数用意している。

有効長としては205系3両でも入換に問題はないと認識している。

6. 車両メンテナンス区所の、検修および構内作業の見直しについて内容を示すこと。

会社回答 作業内容を変更する場合は、必要な周知を行っていく。

組合

ダイヤ改正や4月1日に合わせてJR本体の作業体制の変更を行うのか。昨年10月に制服洗濯と用品業務の直営化が行われた。

減便により予備車が増加する区所がある。車両ニュースに掲載された、ワンマン改造工事を区所施工とする場合があるのか。

E235系の投入に関して、世界的な半導体不足による投入スケジュールの変更はあるのか。

車両置き換えの過渡期で、配置車両数がプラスとなっている。経年車のメンテに人手も必要だが、要員の措置は考えていないのか。

仕業検査の周期延伸により、支社管内で仕業区の廃止や体制変更があるのか示すこと。

会社

JR本体として変更するものはないが、管理する仕業検査の日数や車両運用が変更となるため、提案で示したものである。

改造予備として配置することも想定している。現状で工事計画の詳細を示せるものはない。

総数として745両を投入する計画は変わっていない。流動的な要素もあり、新造スケジュールの変更の可能性はある。

必要な要員は配置している。業務量は把握している。

支社管内の仕業区の廃止はない。作業ダイヤ数の変更はないと聞いている。

7. 乗務員の業務等の見直しで、乗務員の業務が変更となる内容を示すこと。

会社回答 本項については、本社が2021年9月15日に提案したとおりである。

組合

徒歩時分は職場の実態について、すべての区所を調査したのか。

運転士による案内設定が試行されているが、誤りがあった場合は本務の車掌のように掲示や処分が出されるのか。

列車ダイヤの設定にあたり、運転士による案内設定に必要な停車時分を確保しているのか。回送から客扱いで2分未満の作業もある。

会社

計測した当時と実態が変わり、実測を踏まえ増・減を含め見直しを行う。

掲示は同一事象を起こさないための周知のためであり、処分が目的ではない。

停車時分の定めはない。特情ある作業については会社としても注視をしていく。

その③へつづく